

令和元年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	掲示板設置事業
事業実施前の状況	天神2丁目高架下公園前に以前から自治会掲示板としてあったが老朽化し、地元から建て替えの要望があった。
事業実施後の状況	掲示板が新設され、地域の広報が掲示され、喜ばれている。広報を見て、イベントに参加したと声を聴くようになった。
事業の効果	利用者も多く効果大と思われる。
今後の課題等	他地域で掲示板設置要望があるが設置場所(私有地道路スペース等)に問題があり、今後検討をしていきたい。

令和元年5月3/日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	きたてしまプラザ改修事業
事業実施前の状況	きたてしまプラザ内集中空調用機械室で空きスペースになっていた。
事業実施後の状況	平成28年度より補助金(基金)積み立て、地域住民の憩いの場として談話室として改修し、有効活用をしていきたい。
事業の効果	地域の方々に談話室改修完成をPRし、多くの方々に利用していただきたい。
今後の課題等	気軽に利用いただける談話室として運営管理をしていきたい。

令和元年5月21日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	AED 維持管理事業
事業実施前の状況	住吉会館に設置されている、AED機器の本体 豊島北会館の部品使用期限が切れるので交換を要した。 緊急使用時誤動作がないように本体及び部品使用期限が来た部品交換必要性があった。
事業実施後の状況	高齢者等利用の多い、住吉会館 豊島北会館に設置し、地域住民の安心器材として実物を見ることが出来、安心意識も高まっている。設置場所のPR 使用訓練講習が必要。
事業の効果	設置場所を知り、現物を目にすることが出来るようになり安心感がある。
今後の課題等	医療機器なので使用期限があるので交換等は必要と考えるが本体等の交換となれば高額になるので維持管理については市で管理をお願いしたい。 実際に使用するとなると不安が残るので使い方の講習等も定期的にする必要がある 今の所屋内に設置されているが実際は屋外に設置されていることが望ましいと思う。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会
代表者名 富 雅 昭 雷

記

事業の名称	街路灯設置強化事業
事業実施前の状況	北豊島地域に於いて、道路照明が不十分で道路狭小など 道路交通、防犯上問題があった。
事業実施後の状況	通学路や交通量の多い又は狭い道路の照明が不十分であると 思われる場所の交通安全を図る
事業の効果	道路照明の設置ならびに灯器のリニューアルにより 夜間も明るく通行でき、防犯上も安全になったと 地域住民からも喜ばれている。
今後の課題等	今後も地域から要望等もお聞きし、設置必要のある場所 については年次ごとに提案設置を進めていきたい。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 印

記

事業の名称	交通安全事業
事業実施前の状況	北小校区 周辺道路では十分な歩車分離が出来ている道路が少なく、又通過車両も多く、通学時の安全安心確保が保持できていない。
事業実施後の状況	北小児童通学路の指定受けている道路等の路側にグリーンの塗装をした。
事業の効果	通学路の路側にグリーン塗装をすることによって児童 車両運転者ともに注意を喚起することが出来た。
今後の課題等	予算があれば短期間で指定通学路のグリーン塗装を完了したいが毎年計画的に実施していきたい。 地域における登下校の児童の安全確保はもちろんですがこれから迎える高齢者社会 ハンデキャップのある人への対策として安全柵や交差点表示や点字ブロックの設置も考えていきたい。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 冨 雅昭 冨

記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	別紙の通り
事業実施後の状況	別紙の通り
事業の効果	別紙の通り
今後の課題等	別紙の通り

「市民レクリエーション大会」事業報告書

○ 事業内容

事業名	第7回北豊島住民運動会（第56回市民レクリエーション大会）
事業内容及び効果	10月28日(日)北豊島小学校校庭に於いて地域住民参加の第7回北豊島住民運動会を開催致しました。今年は天候に恵まれ、地域住民延2,036名の参加の元、実施し無事に終了致しました。年々参加者も増え、幼児から高齢者まで幅広い層の方々と楽しい触れ合いがあり、日頃希薄になりがちなコミュニケーションの充実、運動を通じ、体力づくり 健康づくりを目指して地域の活性化が図られた。
実施日	平成30年10月28日(日)
実施場所	北豊島小学校 校庭
参加人員	2,036名

○ 事業内容（プログラムを添付してください）

○ 収支の決算書

(収入)

(円)

項目	金額	内容
池田市より	150,000	市より行事報奨金
協賛金	171,000	地域自治会 各種地域団体 (23団体)
寄付金	5,000	来賓 (1件)
繰越金	80,999	
計	406,999	

(支出)

(円)

項目	金額	内容			
対象経費	203,366	消耗品費	競技関係	176,646	鉢巻 競技用ピストル 雷管 競技用備品等
			事務関係	820	筆ペン 領収書 封筒 文具等
			印刷製本費	5,900	プログラム印刷 実施要領等印刷
		原材料費	20,000	会場設営(放送設備借用等)	
小計 ①	203,366		203,366		
その他の経費	169,489	消耗品費	110,514	全員参加お楽しみ抽選会景品	
		食糧費	58,975	飲料水 弁当代 反省会軽食	
繰越金	34,144	翌年度開催準備金	34,144		
小計 ②	203,633		203,633		
合計 ③	406,999		① + ② = ③		

令和元年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	これまでと同様に隔月に広報紙を発行し、地域住民との情報交換を媒体とする事を目的にしてきました。(5回/年間)
事業実施後の状況	平成30年度も目標通り隔月に広報紙を発行することが出来ました。(60号発行) 機関誌として定着した様に思われる。
事業の効果	地域のコミュニティ紙として親しまれて、定着し、協議会の活動状況を広くPRが出来ている。
今後の課題等	推進協議会からの広報紙としての側面のみならず、多くの方々の意見等投稿が掲載できる様、努力していきます。 今後も広報紙を活用し、活動状況 イベント等をPRして行きたい。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 印

記

事業の名称	防災訓練事業
事業実施前の状況	北豊島地域において、予想される 東南海地震 地球温暖化に伴う異常気象による局地的豪雨等の災害に備える必要がある。
事業実施後の状況	池田市危機管理担当者に講師をお願いし、平成30年9月に北豊島地域の幼児から高齢者(約70名参加)による防災講習を実施した。
事業の効果	幼児から高齢者にわたり、防災に対する認識が深まった。
今後の課題等	防災は地震 大雨 火災等 様々な事象あるのでそれぞれに沿った防災講習を行っていきたい。

令和元年 5月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅昭 富

記

事業の名称	豊島北2丁目公園整備事業
事業実施前の状況	豊島北2丁目公園（東側）LED照明灯外灯設置工事。 きたてしまプラザ既設ソーラー発電を活用する事により、非常時の公園照明と公園治安改善（学校事業ふくまる塾参加学生の安全確保）を図る。
事業実施後の状況	H31/3 完成 公園の治安改善月大幅に改善された。 現在設置中のソーラー発電（非常時照明）に追加＜通常は一般回線にて使用、非常時に蓄電池へ接続＞、公園の治安改善をも図る。消費電力が30w以下と少なく、非常時におけるきたてしまプラザ内照明等に影響なし。
事業の効果	地域の治安改善と地域住民に与える安心感は計り知れず。 非常時の公園照明と公園治安改善（学校事業ふくまる塾参加学生の安全確保）が大幅に改善された。
今後の課題等	・設置後の環境の変化を積極PR ・コミュニティ協議会としてのソーラー発電有効活動看板設置、広報誌での積極紹介要

令和元年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	きたてしまプラザ活用事業
事業実施前の状況	コミュニティ推進協議会の拠点 各種文化教室開催場所 学力向上の為 夜間教室(はばたき塾 83回 2,525人)の提供 子育て支援 地域住民相互交流 親睦の場として開放運営する 目的で十分に活用されています。 (利用回数及び参加者 1,396回 17,966人 教室 230回 4,276人)
事業実施後の状況	きたてしまプラザを地域住民相互の交流拠点として、住民対象の 文化教養教室 子供支援活動が出来た。池田ふくまるはばたき塾 の開講支援 空調機械室を整備し、来年度本格的に高齢者等憩いの 場、談話室が誕生するので有効活用していきたい。
事業の効果	当協議会の拠点として、地域住民にも認知され、利用者も 多くなってきております。
今後の課題等	今後も多くの地域住民に利用される協議会拠点として運営して いきたい。 本年度元空調室を談話室に改装し、来年度より高齢者 地域の 方々 どなたでも気軽に利用できる談話室にしたいと考えて おります。

1. 平成30年度 きたてしま°サ°各室利用回数 & 利用人数

	きたてしま 文庫		クッキングルーム		小会議室		和室		大会議室		中会議室		ふれあいM-4		計	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
4月	19	147	6	40	28	117	2	23	16	388	27	239	18	227	116	1,181
5月	20	162	5	47	22	85	2	9	13	202	27	219	18	372	107	1,096
6月	22	192	3	18	22	98	1	5	16	281	32	360	21	326	117	1,280
7月	23	233	4	115	22	196	1	7	16	298	30	309	16	315	112	1,473
8月	22	155	3	27	20	126	6	36	19	332	25	388	14	308	109	1,372
9月	20	137	1	10	19	143	2	10	14	280	30	425	19	361	105	1,366
10月	21	175	3	40	23	154	1	8	22	571	34	476	24	518	128	1,942
11月	21	167	3	30	26	153	1	3	18	482	34	367	23	432	126	1,634
12月	19	144	8	120	20	149	5	56	24	1,004	35	350	19	371	130	2,194
1月	19	122	2	36	20	123	0	0	23	503	29	299	14	229	107	1,312
2月	17	86	7	102	23	167	3	18	21	474	40	515	18	394	129	1,756
3月	17	131	2	25	24	130	6	29	19	375	28	248	14	422	110	1,360
計	240	1,851	47	610	269	1,641	30	204	221	5,190	371	4,195	218	4,275	1,396	17,966

2. 平成30年度 きたてしま°サ°教室開催回数 & 参加人数

	うたう°サ°		氣功體身術		木版画		囲碁教室		ロケットキッズ		計	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
4月	2	51	2	7	2	12	6	41	7	213	19	324
5月	2	48	2	6	2	13	5	35	10	361	21	463
6月	2	48	2	4	2	13	7	57	8	304	21	426
7月	2	44	2	5	2	13	6	45	8	231	20	338
8月	2	36	2	5	2	9	5	33	4	136	15	219
9月	1	27	2	6	2	16	6	47	8	210	19	306
10月	2	58	1	2	2	16	6	50	10	385	21	511
11月	2	50	2	6	2	13	4	36	10	309	20	414
12月	2	45	2	6	1	6	6	54	6	193	17	304
1月	2	41	2	5	2	16	5	50	5	110	16	222
2月	2	35	2	6	2	16	6	58	9	278	21	393
3月	2	41	3	5	2	12	7	66	6	232	20	356
計	23	524	24	63	23	155	69	572	91	2,962	230	4,276

3. 池田ふくまる
はばたき塾

池田ふくまるはばたき塾	
回	人
0	0
6	164
8	326
9	301
9	307
10	303
10	294
9	264
9	253
9	208
4	105
83	2,525

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	きたてしまプラザ祭り開催事業
事業実施前の状況	プラザを利用している各教室の発表の場や、プラザを利用する地域の住民が一同に会する機会が少なかった。
事業実施後の状況	教室同士の横の繋がりと今まで関心の少なかった人も集まる事が出来た。
事業の効果	新たに教室へ参加する人やプラザ祭り次回開催問合せが増えた。
今後の課題等	マンネリ化しない様に新しい企画 運営段階で多くの地域住民に参加してもらう検討する。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記


事業の名称	地域行事活動促進事業
事業実施前の状況	日本の伝統行事のまつり、盆おどり等住民の情報交換が希薄になっている昨今 住民の対話活性化を計るべきである。 又 地域活性のために何か協力する事があればと思っていた。
事業実施後の状況	まつり 盆踊り等 人口の減少、高齢化に伴い資金面で取りやめる所もあったが少額ではあるが助成金を出すことで住民対話も高まり少しずつであるが活気ある行事が行われるようになった。
事業の効果	地域の行事に参加者も増え、明るく より良い街づくりができると思う。
今後の課題等	地域 場所により条件の違う状態にあると思うのでそれぞれの助成金支払先の意見等聞きより良い方向に配慮する必要があると感じる。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅昭 

記

事業の名称	環境美化ウォーキング事業
事業実施前の状況	<p>北豊島地域内の環境改善の為、地域を分割しゴミ等を拾いながら、ウォーキングを通じて、「ゴミの発生場所と分析」を実施！ゴミ撲滅美化活動と健康・地域交流を行う。</p> <p>地域住民と協力しながら、ゴミを出さない為の啓蒙活動を強化する。</p>
事業実施後の状況	<p>第1回目は「熱中症対応」の為中止、3/10 荘園1～2丁目の1回/年のみ実施。「ゴミを拾い」ながら「ウォーキングで健康に」「地域仲良く」を目的とした美化活動(第13回目)を実施。終了後「ゴミをなくすには？」を考え。「ゴミ分析データ表作成と啓蒙(市発行)看板の設置」を重点的に、環境にやさしい街づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近郊住民・各種団体・子供会・企業より 50～60名の参加を得る。 ・健康改善の為 2km程度のウォーキングを実施。 ・啓蒙看板の設置実施。 <p>各地区の活動が浸透しており、啓蒙活動の効果がうかがえる。</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウォーキングで健康に」 散歩しましょう！ ・「ゴミはどこにあるの？」 探しましょう！ ・「ゴミ退治」 ゴミを拾い掲示板をつけます！ <p>を目的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動を継続することによる地域の自主的活動を拡大する。 ウォーキングにより、気持ち・見る目の変化・四季の変化を肌で感じ、地域の変化を感じる。 ・小学生の参加により継続性を期待。
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ発生分析結果の活用法。ゴミ僕目による環境改善と健康を目指すことが課題であり、地域活動家、学校との連携をとる。 ・子供～高齢者まで、楽しく参加して貰える環境づくりの継続を心がける。

令和元年 5月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅昭 

記

事業の名称	環境にやさしいエコクッキング講習会開催事業
事業実施前の状況	<p>「第六回エコクッキング」 野菜ソムリエによる<キッチンからできる地球への思いやり>をテーマに 「いざという時にあると便利な缶詰」 ・アレンジレシピで効率よく使いこなしましょう ・いろいろな工夫でムダをなくしましょう!!! 毎日の食材調達から料理、食事、後片付けまで、環境に配慮する。家計にも優しい、これからのクッキングスタイルを先取り継続と浸透を目指す。</p>
事業実施後の状況	<p>H31. 1/27 実施(1回/年) 参加者 27名 きたてしまプラザにて 3名のヤサイソムリエの方に「いざという時にあると便利な缶詰」「果物の食べ比べ」「エコクッキング講話」と 「今日からできるエコキッチン、実践。幅広い年代、が楽しく学習し料理と知識を習得する。</p>
事業の効果	<p><食材の調達～調理～食事時の努力～後片付け>まで一貫した、エコロジーを身をもって実践できた。 日頃何気なくやっていることであるが、新鮮な感覚にて自然に身につけてもらえた。</p>
今後の課題等	<p>家庭でも季節を味わう思いやりをして貰う事を心がけて貰う。 ・食材を調達・・・出来るだけ地元産の食材を近くの店で調達 ・調理・・・油使用を控え加熱・冷却しないメニューを検討。食材は残さない。 ・食事の時・・・調味料を控え食べ残さない。 ・後片付け・・・洗う前にナプキン等で油分を拭き取りとぎ汁やゆで汁を有効に使う。 ・季節感を考慮。</p>

令和元年 5月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅昭 


記

事業の名称	地球にやさしい思い出づくり事業
事業実施前の状況	「みんなで広げるエコキャンドルの輪」 廃油の再生利用を目的とし、多くの参加を頂き、廃油ローソク作りを体験し…準備～キャンドル点火～後片付け（分別回収を含む）… 今回も前回に続き、図柄を公募とした。
事業実施後の状況	12/23 に第四回目を実施 参加者…25名 廃油リサイクルによる「エコキャンドル」みんなで広げる地域の輪 今回は、参加者のオリジナル作品作りと、公募図柄（ウオンちゃん）の点灯に成功。追加としてイルミネーションも点灯。 今回は、目的を理解して頂く為、作成ローソクは、持ち帰りとし、参加者に楽しんでもらえた。
事業の効果	楽しい時間を共有し、「人・文化・自然」のコミュニケーションをより強くして「どうすれば地球環境を見直す事」を日常の中で、考えて頂く感触は掴めたかと思えます。 廃油を活用したオリジナルローソクづくりで楽しさを体感していただけた。
今後の課題等	・今回、屋外での作品作りを予定でしていたが、天候不順の為出来ず、今後課題である。 参加者の協力と理解を得る事。時期・点灯時間を考慮する必要あり。 ※次回は園芸高校とのコラボを検討。 ・火気厳重注意。 ・やけどに注意。

令和元年 5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 富 雅昭 

記

事業の名称	公園整備(花いっぱい運動)
事業実施前の状況	豊島北二丁目公園にて「地域の高齢者休憩所、幼い子供たちの遊び場、若いお母さんへの憩いの場を提供」し、多くの方の参加により環境改善・維持を継続していく。
事業実施後の状況	6/16、11/24の2回実施 園芸高校の先生/生徒さんの指導を受け、地域住民の皆さんと協力し花壇に季節にあった草花を植替し憩いの場としての維持管理を継続。
事業の効果	地域住民の参加により、季節にあった花を植え、観賞する。 花の植え方・育て方等の実地講習を受け、花を可愛がる人の心に潤いを与え、子供が安心して遊べる安全で清潔な公園と喜ばれている。
今後の課題等	年2回の花植え実施に園芸高校の先生/生徒さん・地域住民の皆さんの一層の協力を今後もいただく事が必要。 近隣の方の積極参加をいただける様努力する。 花壇の維持管理を行う。花泥棒に対する注意喚起を怠らない。 日没より公園が非常に暗くなる為、今期に照明を設置し環境改善を実施 来期には効力を発揮するであろう。

令和元年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 印



記

事業の名称	豊島東公園及びバスケットコート維持管理事業
事業実施前の状況	開園以来 多くの地域住民 子供たちが安全に遊べる場 青少年がバスケットゲームを通じコミュニケーションの 場としてコート及び遊具の維持管理必要であった。
事業実施後の状況	バスケットコート ゴールネット 遊具の安全チェックをし、 月に1回の会員による清掃作業 開閉時間管理等 整備された 環境を維持できている。
事業の効果	土日には多くの住民 青少年がバスケットを楽しみ、 健康増進に役立っている。 青少年も使用後整備整頓が出来、意識の向上が見られる。
今後の課題等	完成後経年劣化進み、コート シュート板等の傷みも激しく、 近年度に市 ネクスコ西日本の協力いただき全面改装を 考えている。

令和元年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 

記

事業の名称	地域医療講座事業
事業実施前の状況	地域住民に役に立つ医療関係の講座を定期的の開講して行きたい。
事業実施後の状況	自分らしく生きるために(終活 医療介護等含)講座(3月27日)の開催 45名の参加者あり、(講師 市立池田病院 今井総長) 関心がある事を実感、今後も講座内容を考え継続していきたい。
事業の効果	講座は3回目でしたが参加者人員は横ばいですが効果は望めると確信した。
今後の課題等	少しでも健康が保てる様に人に迷惑がかからない様に生きる考えをできる講座を今後も続けたい。

令和元年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 富 雅 昭 印

記

事業の名称	子育て支援事業
事業実施前の状況	継続事業ですが当地域には以前から未就学児に対して子育て施設がなく、公的支援のない中、子育て中の母親より子育ての仲間グループ設立の要請で「ウツキズ」が設立され、当協議会が事業として支援をする。
事業実施後の状況	木田弘子氏中心にプラザ内の一室(ふれあいルーム)を開放し、テレビ等による「アト」劇場 童話の読み聞かせや市より支給のおもちゃ等での遊び、秋の運動会 クリスマス会 夏の水遊び等「ウツキズ」が運営され、平成30年度未就園児とその保護者2,962名の参加がありました。 子育ての悩みなど話し合え、好評を得ている。 指導員有償ボランティア制度を導入し、運営しています。
事業の効果	母親たちにも好評で幼児を明るく元気に育て、自分自身の子育ての悩みなど共通した話題が出来、参加者も年々増えつつある状況で事業効果は上がっていると思います。 個人相談室や3歳児中心の『びよびよクラブ』等開設
今後の課題等	木田氏を中心に事業活動を展開しているが内容から見て有償ボランティアに切り替えたが限度あるので検討を加えたい。 出来れば何かの形で市の支援をお願いしたい。 指導者の高齢化に伴い、新しい指導者を確保していきたい。